

Agilent U1210 シリーズ・ ハンドヘルド・クランプ・メータ

Data Sheet

高電流をより安全に測定可能

特長

- 大きなクランプ口：52 mm
- AC、DC、AC+DC で最大 1000 A の高電流測定
- CAT III 1000 V / CAT IV 600 V 安全規格
- 抵抗、キャパシタンス、周波数、温度測定機能を備えたフル機能 DMM を内蔵
- 高分解能測定：最小 0.01A の電流測定
- ピーク・ホールド
- デュアル・レンジ切替えモード：手動および自動
- 大型デュアル・ディスプレイ
- 最小値／最大値の記録機能



電気配線ケーブルの測定は、危険が伴います。Agilent U1210 シリーズ・ハンドヘルド・クランプ・メータを使用すれば、直径 52 mm までのケーブルに対して、回路を遮断せずに高電流を測定できます。ほとんどのクランプ・メータとは異なり、U1210 シリーズ・ハンドヘルド・クランプ・メータには、抵抗、キャパシタンス、周波数、温度などの DMM 機能もあり、敷設／保守時にトラブルシューティングが簡単に行えます。CAT IV 600V および CAT III 1000 V の安全規格に準拠し、安全に作業が行えます。



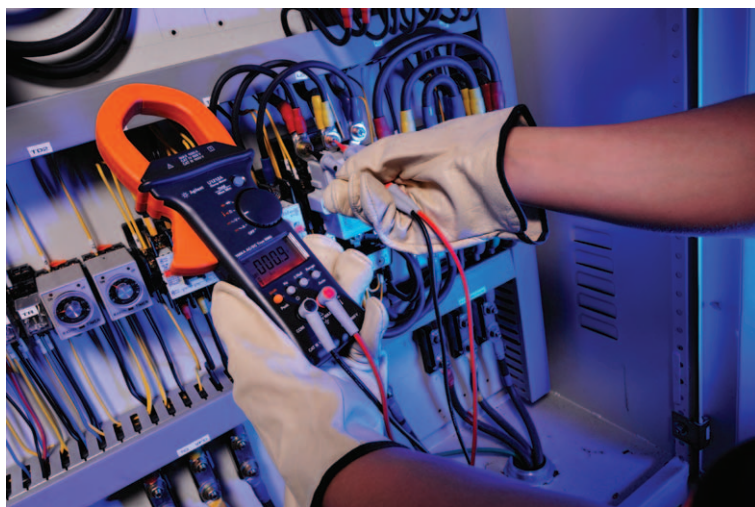
Agilent Technologies

主な測定機能



簡単に正確な電流測定

Agilent U1210 シリーズ・ハンドヘルド・クランプ・メータには、52 mm のクランプ口と、最大 1000 A の高電流測定機能 (AC、DC、AC + DC) があります。これらのハンドヘルドは、顎のサイズが大きいため、太いケーブルの電流測定も簡単に行えます。U1210 シリーズのクランプは、柔軟性が高く、高電流を安全に扱えます。



フル装備のデジタル・マルチメータ機能

U1210 シリーズ・ハンドヘルド・クランプ・メータには、基本的なマルチメータ機能があり、さまざまなアプリケーション (ACA、DCV、ACV、抵抗、可聴導通、ダイオード・テスト、周波数テスト) に対応できる豊富な測定機能を備えています。これらのメータには、自動レンジ切替え機能、突入電流測定用の内蔵ピーク・ホールド機能、温度/キャパシタンス測定機能があり、測定結果は大型のバックライト搭載ディスプレイに表示されます。また、片手での操作が可能です。



52 mm の大きな顎の開口により、太い電流源をテスト可能

キャパシタンス／ダイオード測定

最大値／最小値の記録機能

温度測定／可聴導通機能

AC、DC、AC + DC で最大 1000 A の高電流測定

最大読み値 4000 カウントの大型 LCD ディスプレイ

突入電流テスト用のピーク・ホールド機能

手動または自動レンジ切替え

一般仕様

項目	仕様
寸法	U1211A 106 mm (幅) × 273 mm (長さ) × 43 mm (高さ)
	U1212A/U1213A 106 mm (幅) × 260 mm (長さ) × 43 mm (高さ)
正味質量	U1211A 625 g (バッテリーを含む)
	U1212A/U1213A 525 g (バッテリーを含む)
ディスプレイ	4桁 (最大読み値 : 4,100 カウント)。12 セグメントのアナログ棒グラフとフル・インジケータ。自動極性表示。
バッテリー	標準 9V アルカリ電池
低バッテリー・インジケータ	バッテリー電圧が 6.0V 未満のとき
消費電力	U1211A 186 mVA (最大値)
	U1212A/U1213A 220 mVA (最大値)
バッテリー寿命	60 時間 (代表値)
最大顎開口	52 mm
温度係数	0.12 × (仕様確度) /°C (0 °C ~ 18 °C または 28 °C ~ 50 °C)
NMRR (ノーマル・モード・ノイズ除去比)	このシリーズの NMRR 仕様は 50 Hz および 60 Hz で > 60 dB なので、DC 測定で AC ノイズの影響はほとんどありません。
CMRR (コモン・モード除去比)	U1211A および U1212A の CMRR 仕様は、ACV 測定では DC ~ 60 Hz で > 60 dB、DCV 測定では DC、50 Hz、60 Hz で > 80 dB です。
	U1213A の CMRR 仕様は、ACV 測定では DC ~ 60 Hz で > 60 dB、DCV 測定では DC、50 Hz、60 Hz で > 120 dB です。
動作温度	- 10 °C ~ 50 °C、0 ~ 80 % R.H.
保管温度	- 20 °C ~ 60 °C、0 ~ 80 % R.H.
相対湿度 (R.H.)	31 °C までは最大 80 % の相対湿度 (R.H.)、50 % R.H. (50 °C) までリニアに減少
温度係数	0.1 × (仕様確度) /°C (0 °C ~ 18 °C または 28 °C ~ 50 °C)
安全規格	EN/IEC 61010-1:2001、ANSI/UL 61010-1:2004、CAN/CSA-C22.2 No.61010-1-04
測定カテゴリ	CAT III 1000 V/ CAT IV 600 V
EMC コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> • IEC61326-1:2005/ EN61326-1:2006 に準拠 • CISPR 11:2003/ EN 55011:2007 グループ 1 クラス A • カナダ : ICES-001:2004 • オーストラリア/ニュージーランド : AS/NZS CISPR11:2004

U1211A の電氣的仕様

確度は、23℃±5℃、相対湿度 80 % 未満で、±(読み値の%+最下位桁の数)として与えられます。

ACV/ACA 仕様は、AC 結合時の真の実効値で、レンジの 5 %～100 % で有効です。クレスト・ファクタは、フル・スケールで最大 3.0 です。但し、1000 V/1000 A レンジでは、フル・スケールで 1.5 です。クレスト・ファクタが 3 までの非正弦波形的場合は、(読み値の 2 % + フル・スケールの 2 %) (代表値) を加算します。

DC 電圧

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 V	0.1 V	0.5 % +5	1000 V RMS
1000 V	1 V	0.5 % +3	

- 入力インピーダンス：10 M Ω (公称値)

AC 電圧

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
		45 ~ 400 Hz	
400 V	0.1 V	1 % +5	1000 V RMS
1000 V	1 V	1 % +5	

- 入力インピーダンス：10 M Ω (公称値)、並列容量：< 100 pF

電圧 (1 ms ピーク・ホールド)

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 V	0.1 V	1 % +43	1000 V RMS
1000 V	1 V	1 % +43	

- 持続時間が 1 ms 以上の仕様

ダイオード・テスト / 可聴導通テスト

レンジ	分解能	確度	テスト電流	オープン電圧
ダイオード	0.001 V	0.5 % +2	約 0.8 mA	< +3.1 V

- 過負荷保護：ショート回路電流 < 0.3 A の回路の場合は、1000 V RMS です。
- 読み値が約 50 mV より低いときには、内蔵ブザーが鳴ります。正常な正バイアス・ダイオードまたは 0.3 V ≤ 読み値 ≤ 0.8 V の半導体接合に対して可聴シングル・トーンが発生します。

抵抗

レンジ	分解能	確度	テスト電流
400 Ω	0.1 Ω	0.5 % +3	0.8 mA
4 k Ω	0.001 k Ω	0.5 % +3	80 μ A

注記：

1. 過負荷保護：ショート回路電流 < 0.3 A の回路の場合は、1000 V RMS です。
2. 最大オープン電圧：< +3.1 V
3. 可聴導通：抵抗が 10.0 Ω 未満のときに内蔵ブザーが鳴ります。
4. 400 Ω と 4 k Ω の仕様確度は、相対機能 (テスト・リードの抵抗と熱起電力の減算に使用) を適用した後の仕様です。

U1211A の電氣的仕様（続き）

キャパシタンス

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 μ F	0.1 μ F	2 %+4	ショート回路電流 <0.3 A の回路の場合 は、1000 V RMS です。
4000 μ F	1 μ F	3 %+4	

- 確度は、薄膜キャパシタなどの高品質キャパシタに基づいたもので、相対モードを使用して残留値をゼロにした場合です。

AC 電流

レンジ	分解能	確度 *N1		
		45 ~ 65 Hz	65 ~ 400 Hz	400 Hz ~ 1 kHz
40 A	0.01 A	1.0 %+10	1.0 %+10	3.0 %+10
400 A	0.1 A	1.0 %+5	1.0 %+5	3.0 %+5
400 ~ 700 A	1 A	1.0 %+5	1.0 %+5	3.0 %+5
700 ~ 1000 A	1 A	1.0 %+5	なし	なし

- 最大過負荷：1000 A RMS。確度は左右対称波形で仕様化されています。
- N1：電流一周波数積の最大値は 400,000 A x Hz 未満です。

警告：

測定デューティ・サイクルは次のリミットを超えないようにする必要があります。

0 ~ 600 A RMS	連続
600 ~ 700 A RMS	10 分間オン、10 分間オフ
700 ~ 1000 A RMS	5 分間オン、20 分間オフ

電流（1 ms ピーク・ホールド）

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	2.0 %+70	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 %+43	
1000 A	1 A	2.0 %+43	

- 持続時間が 1 ms 以上の仕様

U1211A の電氣的仕様（続き）

周波数（AC 結合）

レンジ	分解能	確度	最小周波数
99.99 Hz	0.01 Hz	0.2 % + 3	10 Hz
999.9 Hz	0.1 Hz		
9.999 kHz	0.001 kHz		
99.99 kHz	0.01 kHz		
999.9 kHz	0.1 kHz		

- 過負荷保護：1000 V、<20,000,000 V x Hz

感度

周波数感度		
レンジ	最小感度 (RMS)	
AC の仕様確度のための 最大入力	40 Hz ~ 2 kHz	10 ~ 40 Hz または 2 ~ 100 kHz
400 V	6 V	6 V
1000 V	20 V	30 V (<10 kHz)
40 A	3 A (<1 kHz)	3 A (<1 kHz)
400 A	20 A (<1 kHz)	20 A (<1 kHz)
1000 A	50 A (1 kHz)	50 A (<1 kHz)

U1212A の電氣的仕様

確度は、23℃±5℃、相対湿度 80% 未満で、±（読み値の%+最下位桁の数）として与えられます。

ACV/ACA 仕様は、AC 結合時の真の実効値で、レンジの 5%～100% で有効です。クレスト・ファクタは、フル・スケールで最大 3.0 です。ただし 1000 V/1000 A レンジでは、フル・スケールで 1.5 です。クレスト・ファクタが 3 までの非正弦波形的場合は、（読み値の 2%+フル・スケールの 2%）（代表値）を加算します。

DC 電圧

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 V	0.1 V	0.5 %+3	1000 V RMS
1000 V	1 V	0.5 %+3	

- 入力インピーダンス：10 M Ω（公称値）

AC 電圧

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
		45 ~ 400 Hz	
400 V	0.1 V	1 %+5	1000 V RMS
1000 V	1 V	1 %+5	

- 入力インピーダンス：10 M Ω（公称値）、並列容量：< 100 pF

電圧（1 ms ピーク・ホールド）

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 V	0.1 V	1 %+43	1000 V RMS
1000 V	1 V	1 %+43	

- 持続時間が 1 ms 以上の仕様

ダイオード・テスト／可聴導通テスト

レンジ	分解能	確度	テスト電流	オープン電圧
ダイオード	0.001 V	0.5 %+2	約 0.8 mA	< +3.1 V

- 過負荷保護：ショート回路電流 < 0.3 A の回路の場合は、1000 V RMS です。
- 読み値が約 50 mV より低いときには、内蔵ブザーが鳴ります。正常な正バイアス・ダイオードまたは 0.3 V ≤ 読み値 ≤ 0.8 V の半導体接合に対して可聴シングル・トーンが発生します。

抵抗

レンジ	分解能	確度	テスト電流
400 Ω	0.1 Ω	0.5 %+3	0.8 mA
4 k Ω	0.001 k Ω	0.5 %+3	80 μ A

注記：

1. 過負荷保護：ショート回路電流 < 0.3 A の回路の場合は、1000 V RMS です。
2. 最大オープン電圧：< +3.1 V
3. 可聴導通：抵抗が 10.0 Ω 未満のときに内蔵ブザーが鳴ります。
4. 400 Ω と 4 k Ω の仕様確度は、相対機能（テスト・リードの抵抗と熱起電力の減算に使用）を適用した後の仕様です。

U1212A の電氣的仕様（続き）

キャパシタンス

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 μ F	0.1 μ F	2 % +4	ショート回路電流 <0.3 A の回路の場合 は、1000 V RMS です。
4000 μ F	1 μ F	3 % +4	

- 確度は、薄膜キャパシタなどの高品質キャパシタに基づいたもので、相対モードを使用して残留値をゼロにした場合です。

DC 電流

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	1.5 % +15	1000 A RMS
400 A	0.1 A	1.5 % +3	
1000 A	1 A	2.0 % +5	

- 残留オフセットをゼロ調整するには相対モードを使用してください。

AC 電流

レンジ	分解能	確度 *N1		最大過負荷
		45 ~ 65 Hz	65 Hz ~ 1 kHz	
40 A	0.01 A	2.0 % +10	3.0 % +10	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 % +5	3.0 % +5	
1000 A	1 A	2.0 % +5	3.0 % +5	

- N1：電流一周波数積の最大値は 400,000 A x Hz 未満です。

電流（1 ms ピーク・ホールド）

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	2.0 % +70	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 % +43	
1000 A	1 A	2.0 % +43	

- 持続時間が 1 ms 以上の仕様

温度テスト

熱電対タイプ	レンジ	分解能	確度
K	- 200 ~ - 40 $^{\circ}$ C	0.1 $^{\circ}$ C	1 % + 3 $^{\circ}$ C
	- 40 ~ 1372 $^{\circ}$ C	0.1 $^{\circ}$ C	1 % + 1 $^{\circ}$ C
	- 328 ~ - 40 $^{\circ}$ F	0.1 $^{\circ}$ F	1 % + 6 $^{\circ}$ F
	- 40 ~ 2502 $^{\circ}$ F	0.1 $^{\circ}$ F	1 % + 2 $^{\circ}$ F

注記：

1. 確度には、熱電対プローブの許容範囲が含まれていません。メータは、同じ場所に 1 時間以上置いておく必要があります。
2. 温度センサを、約 33 V RMS または 70 V DC 以上印加されている表面に触れないようにしてください。こうした電圧は感電の危険があります。
3. 温度計算は、EN/IEC-60548-1 および NIST175 規格に準拠しています。

U1212A の電氣的仕様（続き）

周波数（AC 結合）

レンジ	分解能	確度	最小周波数
99.99 Hz	0.01 Hz	0.2 % + 3	10 Hz
999.9 Hz	0.1 Hz		
9.999 kHz	0.001 kHz		
99.99 kHz	0.01 kHz		
999.9 kHz	0.01 kHz		

- 過負荷保護：1000 V

感度

周波数感度		
レンジ	最小感度 (RMS)	
AC の仕様確度の最大入力	40 Hz ~ 2 kHz	10 ~ 40 Hz または 2 ~ 100 kHz
400 V	6 V	6 V
1000 V	20 V	30 V (<10 kHz)
40 A	3 A (<1 kHz)	3 A (<1 kHz)
400 A	20 A (<1 kHz)	20 A (<1 kHz)
1000 A	50 A (1 kHz)	50 A (<1 kHz)

U1213A の電氣的仕様

確度は、23℃±5℃、相対湿度 80% 未満で、±（読み値の%+最下位桁の数）として与えられます。

ACV/ACA 仕様は、AC 結合時の真の実効値で、レンジの 5%～100% で有効です。クレスト・ファクタは、フル・スケールで最大 3.0 です。ただし 1000 V/1000 A レンジでは、フル・スケールで 1.5 です。クレスト・ファクタが 3 までの非正弦波形的場合は、（読み値の 2%+フル・スケールの 2%）（代表値）を加算します。

DC 電圧

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
4 V	0.001 V	0.2%+5	1000 A RMS
40 V	0.01 V		
400 V	0.1 V		
1000 V	1 V	0.5%+3	

- 入力インピーダンス：10 MΩ（公称値）

AC 電圧

レンジ	分解能	確度		過負荷保護
		45～400 Hz	400 Hz～2 kHz	
4 V	0.001 V	1.0%+5	2.0%+5	1000 V RMS
40 V	0.01 V			
400 V	0.1 V			
1000 V	1 V			

注記：

1. 入力インピーダンス：10 MΩ（公称値）、並列容量：< 100 pF

AC+DC 電圧

レンジ	分解能	確度		過負荷保護
		45～400 Hz	400 Hz～2 kHz	
4 V	0.001 V	1.5%+9	2.5%+9	1000 V RMS
40 V	0.01 V			
400 V	0.1 V			
1000 V	1 V			

- 入力インピーダンス：10 MΩ（公称値）、並列容量：< 100 pF

電圧（1 ms ピーク・ホールド）

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
4 V	0.001 V	1.0%+43	1000 V RMS
40 V	0.01 V		
400 V	0.1 V		
1000 V	1 V		

- 持続時間が 1 ms 以上の仕様

ダイオード・テスト／可聴導通テスト

レンジ	分解能	確度	テスト電流	オープン電圧
ダイオード	0.001 V	0.5%+2	約 0.8 mA	< +3.1 V

- 過負荷保護：ショート回路電流 < 0.3 A の回路の場合は、1000 V RMS です。
- 読み値が約 50 mV より低いときには、内蔵ブザーが鳴ります。正常な正バイアス・ダイオードまたは 0.3 V ≤ 読み値 ≤ 0.8 V の半導体接合に対して可聴シングル・トーンが発生します。

U1213A の電氣的仕様（続き）

抵抗

レンジ	分解能	確度	テスト電流
400 Ω	0.1 Ω	0.3 %+3	0.8 mA
4 k Ω	0.001 k Ω		80 μ A
40 k Ω	0.01 k Ω		8 μ A
400 k Ω	0.1 k Ω		727 nA
4 M Ω	0.001 M Ω	0.6 %+3	112 nA
40 M Ω	0.01 M Ω	2.0 %+5	112 nA

注記：

1. 過負荷保護：ショート回路電流 <0.3 A の回路の場合は、1000 V RMS です。
2. 最大オープン電圧：< +3.1 V
3. 導通：抵抗が 10.0 Ω 未満のときに内蔵ブザーが鳴ります。
4. 400 Ω と 4 k Ω の仕様確度は、相対機能（テスト・リードの抵抗と熱起電力の減算に使用）を適用した後の仕様です。

キャパシタンス

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
4 μ F	0.001 μ F	1 %+4	ショート回路電流 <0.3 A の回路の場合 は、1000 V RMS です。
40 μ F	0.01 μ F		
400 μ F	0.1 μ F	2 %+4	
4000 μ F	1 μ F	3 %+4	

- 確度は、薄膜キャパシタなどの高品質キャパシタに基づいたもので、相対モードを使用して残留値をゼロにした場合です。

DC 電流

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	1.5 %+15	1000 A RMS
400 A	0.1 A	1.5 %+3	
1000 A	1 A	2.0 %+5	

- 残留オフセットをゼロ調整するには相対モードを使用してください。

AC 電流

レンジ	分解能	確度 *N1		最大過負荷
		45 ~ 65 Hz	65 Hz ~ 1 kHz	
40 A	0.01 A	2.0 %+10	3.0 %+10	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 %+5	3.0 %+5	
1000 A	1 A	2.0 %+5	3.0 %+5	

- N1：電流一周波数積の最大値は 400,000 A x Hz 未満です。

U1213A の電氣的仕様（続き）

AC+DC 電流

レンジ	分解能	確度		最大過負荷
		45 ~ 65 Hz	65 Hz ~ 1 kHz	
40 A	0.01 A	3.5 % +25	4.5 % +25	1000 A RMS
400 A	0.1 A	3.5 % +9	4.5 % +9	
1000 A	1 A	4.5 % +9	5.0 % +9	

電流（1 ms ピーク・ホールド）

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	2.0 % +70	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 % +43	
1000 A	1 A	2.0 % +43	

- 持続時間が 1 ms 以上の仕様

温度テスト

熱電対タイプ	レンジ	分解能	確度
K	- 200 ~ - 40 °C	0.1 °C	1 % + 3 °C
	- 40 ~ 1372 °C	0.1 °C	1 % + 1 °C
	- 328 ~ - 40 °F	0.1 °F	1 % + 6 °F
	- 40 ~ 2502 °F	0.1 °F	1 % + 2 °F

注記：

1. 確度には、熱電対プローブの許容範囲が含まれていません。メータは、同じ場所に 1 時間以上置いておく必要があります。
2. 温度センサを、約 33 V RMS または 70 V DC 以上印加されている表面に触れないようにしてください。こうした電圧は感電の危険があります。
3. 温度計算は、EN/IEC-60548-1 および NIST175 規格に準拠しています。

周波数（AC 結合）

レンジ	分解能	確度	最小周波数
99.99 Hz	0.01 Hz	0.2 % +3	10 Hz
999.9 Hz	0.1 Hz		
9.999 kHz	0.001 kHz		
99.99 kHz	0.01 kHz		
999.9 kHz	0.01 kHz		

- 過負荷保護：1000 V、<20,000,000 VxHz

U1213A の電氣的仕様（続き）

感度

周波数感度		
レンジ	最小感度 (RMS)	
AC の仕様確度の最大入力	45 Hz ~ 2 kHz	10 Hz ~ 200 kHz
4 V	0.3 V	0.6 V
40 V	2 V	3 V
400 V	20 V	30 V (<100 kHz)
1000 V	50 V	50 V (<10 kHz)
40 A	3 A (<1 kHz)	3 A (<1 kHz)
400 A	20 A (<1 kHz)	20 A (<1 kHz)
1000 A	50 A (<1 kHz)	50 A (<1 kHz)

デューティ・サイクル

モード	レンジ	フル・スケールの確度
AC 結合	0.1 %~99.9 %	0.3 % /kHz+0.3 %

注記：

1. デューティ・サイクルの確度は、DC 4V レンジおよび最大周波数 2 kHz の 4V 方形波に基づいています。デューティ・サイクル・レンジは、信号周波数 >20 Hz 時に 5 % ~ 95 % 内で測定できます。

標準付属品

- テスト・リード
- 19mm プローブ
- 4mm プローブ
- ソフト・キャリング・ケース
- クイック・スタート・ガイド
- 校正証明書 (CoC)

オプションのアクセサリ

- U1168A 標準テスト・リード・キット
- U1162A ワニ口クリップ
- U1175A ソフト・キャリング・ケース
- U1186A K タイプ熱電対およびアダプタ



ご存じですか？

クランプ・メータでは、一度に1つの導線のみを測定するようにしてください。複数の導線を測定すると、導線内を流れる電流のベクトル和により、測定読み値が不正確になる可能性があります。



電子計測UPDATE

www.agilent.co.jp/find/emailupdates-Japan
Agilent からの最新情報を記載した電子メールを無料でお送りします。



www.lxistandard.org
LXIは、GPIBのLANベースの後継インタフェースで、さらに高速かつ効率的なコネクティビティを提供します。Agilentは、LXIコンソーシアムの設立メンバーです。

契約販売店

www.agilent.co.jp/find/channelpartners
アジレント契約販売店からもご購入頂けます。お気軽にお問い合わせください。

Remove all doubt

アジレント・テクノロジーでは、柔軟性の高い高品質な校正サービスと、お客様のニーズに応じた修理サービスを提供することで、お使いの測定機器を最高標準に保つお手伝いをしています。お預かりした機器をお約束どりのパフォーマンスにすることはもちろん、そのサービスをお約束した期日までに確実にお届けします。熟練した技術者、最新の校正試験プログラム、自動化された故障診断、純正部品によるサポートなど、アジレント・テクノロジーの校正・修理サービスは、いつも安心して信頼できる測定結果をお客様に提供します。

また、お客様それぞれの技術的なご要望やビジネスのご要望に応じて、

- アプリケーション・サポート
- システム・インテグレーション
- 導入時のスタート・アップ・サービス
- 教育サービス

など、専門的なテストおよび測定サービスも提供しております。

世界各地の経験豊富なアジレント・テクノロジーのエンジニアが、お客様の生産性の向上、設備投資の回収率の最大化、測定器のメンテナンスをサポートいたします。詳しくは：

www.agilent.co.jp/find/removealldoubt

アジレント・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-18:00 (土・日・祭日を除く)

TEL ■■■ 0120-421-345
(042-656-7832)

FAX ■■■ 0120-421-678
(042-656-7840)

Email contact_japan@agilent.com

電子計測ホームページ
www.agilent.co.jp

- 記載事項は変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

© Agilent Technologies, Inc.2010

Published in Japan, May 24, 2010
5990-5083JAJP
0000-00DEP



Agilent Technologies